

# 平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	緑のカーテン事業			会計	款	項目	大	小
政策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策・放射能対策課	01	04	01	04
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造	主管課長	染谷 忠美	05	05	68	

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民、自治会、学校、公共施設	意図	地球温暖化防止に寄与する。
事業内容	二酸化炭素排出量の削減に有効といわれているゴーヤについて、育て方の講習会を開催するとともに公共施設及び自治会を通じて市民にゴーヤの苗や種を配布することにより、緑のカーテンの普及を図る。平成24年度から本事業を「流山ゴーヤカーテン普及促進協議会」に業務委託し事業の推進を図っている。平成26年度は、「第8回全国緑のカーテンフォーラム」を流山市で開催し、緑のカーテンの魅力をアピールした。			
事業開始から現在までの状況変化	平成23年度までは市がゴーヤの苗を自治会等に直接配布してきたが、平成23年4月に「流山ゴーヤカーテン普及促進協議会」が設立されたことに伴い、本事業を当団体に業務委託し事業の推進を図り、緑のカーテンを広め市民に対し二酸化炭素削減対策のさらなる普及促進を進めている。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	申込自治会	83	94	101	件
②	緑のカーテン実施率	18.20	17.10	13.80	%	↑↑↑	まちづくり達成度アンケート
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	市民との協働、節電・地域コミュニティの向上。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 緑のカーテン普及については、平成26年度も流山ゴーヤカーテン普及促進協議会に業務委託し、4会場でゴーヤカーテン育て方講習会を開催し、市民に1,900株のゴーヤの苗と400粒のゴーヤの種を配布した。また、自治会には昨年より7自治会多い101自治会に7,634株の苗と11,560粒の種を配布したほか、学校や公共施設に1,650株の苗を配布した。 更に、全国緑のカーテンフォーラムを流山市で開催し、緑のカーテンの普及・促進を図った。		
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		2,891,875	2,880,122	6,757,747			
事業費(b)(円)		1,169,155	1,203,242	2,612,187			
うち一般財源		1,169,155	1,203,242	1,212,187			
職員給与費(c)(円)		1,722,720	1,676,880	4,145,560			
人役・職員(人)		0.24	0.24	0.60			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	ゴーヤの配布と育て方の講習を分けるとともに種の配布を増やす。全国フォーラムの開催をきっかけに一層の普及啓発を図る。	③取り組みの課題	限られた予算の中で、より多くの市民に緑のカーテンを普及するためにはゴーヤの苗を制限して種を増やしていくことが必要となる。
②今年度(H26)に実施した取り組み	ゴーヤの配布と育て方講習会を分けて行った。苗は1人3株から2株にして、種の数を増やした。また、全国緑のカーテンフォーラムを流山市で開催した。	④今後の改善計画	ゴーヤの苗による配布を制限して種の配布を増やしていく。